

シラバス

科目名	選択語学(中国語・韓国語・スペイン語) I		担当者名	李 尚炫	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	韓国語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	韓国語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。				
授業概要	韓国語の文字の仕組みを理解した上で単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。 テキスト：新大久保語学院, 李志映『新装版 できる韓国語 初級I』2010, DEKIRU出版				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 文字の文字と発音-文字の成り立ち, 基本母音	19	第9課(動詞・形容詞の「ヨ体」)	
	2	文字の文字と発音-子音、平音・激音・濃音 文字の文字と発音-パッチム	20	第10課(固有語数詞)	
	3	文字の文字と発音-合成母音	21	第8課(漢字語数詞)、第10課(固有語数詞)	
	4	第1課(名詞+です「입니다」) 自己紹介	22	第11課(過去形)	
	5	第1課(名詞+です「입니다」) 第2課(名詞+ですの否定文「이/가 아닙니다」)	23	第11課(過去形)	
	6	第2課(「名詞+です」の否定文)	24	第11課(過去形)	
	7	第3課(こ・そ・あ、名詞+です「요体」)	25	第12課(敬語表現-現在)	
	8	第3課(こ・そ・あ、名詞+です「요体」、その否定文)	26	第13課(敬語表現-過去形)	
	9	第4課(ある・いる「있습니다/없습니다」) (ある・いる「있어요/없어요」)	27	第12課(敬語表現-現在) 第13課(敬語表現-過去形)	
	10	第4課(ある・いる「있어요/없어요」) 第5課(位置を表す表現)	28	韓国語文型の3つのグループ	
	11	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다体」)	29	テスト対策、予備日	
	12	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다体」)	30	テスト返し/振り返り	
	13	第6課(動詞・形容詞の「です・ます」にあたる表現「습니다体」)	31		
	14	第7課(動詞・形容詞の否定文)	32		
	15	テスト対策、予備日	33		
	16	第8課(漢字語数詞)	34		
	17	第9課(動詞・形容詞の「ヨ体」)	35		
18	第9課(動詞・形容詞の「ヨ体」)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 C:60~69点 D:59点以下は不合格 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	一橋大学大学院 言語社会研究科 博士課程修了 一橋大学大学院 言語社会研究科 特別研究員				

シラバス

科目名	航空概論～飛行機と安全～		担当者名	駒田 進	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	・グラウンドハンドリングの業種・業務内容と航空機周辺でのハンドリング知識習得を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	グラウンドハンドリングの業務内容について理解できるように知識を習得させる。				
授業概要	座学(パワーポイント)を使用した授業内容。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	グラウンドハンドリングの歴史を説明。	19	FLIGHT INFORMATION SYSTEMの見方ならびに確認方法。	
	2	空港の制限区域内安全管理規程を理解させる。	20	グラウンドハンドリング整備関連業務説明。(Towing、Brake Man、マーシャリング等)	
	3	グラウンドハンドリング業務。(ランプ領域・整備領域の業務説明)	21	グラウンドハンドリング整備関連業務説明。(機内CLG、機外CLG、航空機防除雪氷作業等)	
	4	グラウンドハンドリング業務。(貨物・郵便領域の業務説明)、グラウンドハンドリングに係わる業務(旅客領域、航務領域の業務説明)	22	航空機の電圧と油圧概要説明。(グラウンドハンドリングで実施する業務内容等)	
	5	地上器材の種類説明。(自走車両・非自走車両)	23	パッセンジャーボーディングブリッジ概要説明と航空機旅客乗降DOOR操作説明。	
	6	地上支援器材GSE(Ground Support Equipment)の車両使用用途業務説明。	24	航空機危険物概要説明。(航空機への搭載制限品一般)	
	7	指差呼称(グラウンドハンドリングで実施しなくてはならない指差呼称)、危険予知の一環としての安全確認方法。	25	航空機への搭載燃料概要説明。(ケロシンとワイドカットの使用用途の違い等)	
	8	空港3レターコード、4レターコードの説明。	26	航空機重量管理の概要説明。(航空機全体の重量はどこまで必要等)	
	9	ULD(コンテナ)コード(IDコード)の説明。	27	フライトプランに概要説明。(ATCフライトプランとカンパニーフライトプランの違い等)	
	10	搭降載業務概要説明(手荷物、貨物、郵便物搭載の優先順位)ならびに作業内容説明。	28	後期実施したグラウンドハンドリング業務の振り返り説明。	
	11	搭降載業務一般(搬出、機移し、搬入)の業務内容説明。	29	後期試験。	
	12	航空機貨物室概要説明、(FWD、AFT、BULK貨物室)緊縮装置(フッチ等)の説明。	30	後期試験の解答を併せてフォローアップ実施。	
	13	前期実施したグラウンドハンドリング業務の振り返り説明。	31	前期からの振り返り	
	14	前期試験。	32	後期からの振り返り	
	15	前期試験の解答を併せてフォローアップ実施。	33	一年間の振り返り	
	16	貨物および郵便物の集荷業務説明。(貨物インタクト搬入、小口バラ搬入、小口搬入・郵便局出し、CTメール、USメール等)	34		
	17	手荷物の集荷と引き渡し業務説明。(搭乗券とリンクしたBAG TAG)の手荷物搬送場への移送、手荷物搬送システムBHS説明等)	35		
18	貨物トフッキング業務概要説明。(マニフェスト業務、カウンター業務、フライトコントロール業務、ULDコントロール業務等)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A 80点～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	(株)JALグラウンドサービス教育センター教育グループより非常勤として出向いております。				

シラバス

科目名	ITリテラシー I		担当者名	千葉 輝子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない人材の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ITリテラシーを身に付け、情報の取捨選択ができるようになる				
授業概要	情報リテラシー 情報を正しく使うための能力 ネットワークリテラシー ネットワークやセキュリティに関する知識 コンピュータリテラシー パソコンやスマホなどのツールを使いこなす能力 を身に付ける				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	ネット社会に潜む危険と対策	
	2	ガイダンス	20	ネット社会に潜む危険と対策	
	3	ガイダンス	21	メールによるコミュニケーション	
	4	ガイダンス 自己紹介・自分のパソコンを調べよう	22	メールによるコミュニケーション	
	5	SNSのトラブル事例を調べよう	23	Webによるコミュニケーション	
	6	CPUの種類、周辺機器を調べよう	24	Webによるコミュニケーション	
	7	コンピュータシステム	25	モバイル機器の活用と管理	
	8	コンピュータシステム	26	モバイル機器の活用と管理	
	9	コンピュータシステム	27	ネットワークの仕組み	
	10	コンピュータシステム	28	ネットワークの仕組み	
	11	情報化社会のモラルとセキュリティ	29	Webページを作成してみよう	
	12	情報化社会のモラルとセキュリティ	30	Webページを作成してみよう	
	13	個人情報の適切な取り扱い	31	Webページを作成してみよう	
	14	個人情報の適切な取り扱い	32	学年末試験	
	15	デジタル時代の著作権	33	学年末試験の解答解説	
	16	デジタル時代の著作権	34	ガイダンス	
	17	前期期末試験	35	ガイダンス	
18	前期期末試験の解答解説	36	ガイダンス		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート				
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	美人塾～意識を変えるトータルビューティ～		担当者名	三浦 理恵	
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	1単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的					
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	素敵な第一印象を与える美しい身だしなみと立居振舞を学ぶのと同時にカスタマーサービスの範囲である、人間関係を築く上で大切な5原則を学び、エアライン業界に適した人材の育成を図る。				
授業概要	美しい身だしなみや立ち振る舞い、また感じの良い話し方・聞き方のトレーニングを実践する。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	授業概要説明(内容・評価基準・態度など)	19	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	2	メラビアン法則、3秒ルール「いい第一印象」とは表情訓練、基本動作(立ち方)	20	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	3	ドレスアップデーを考える(髪型・着こなし)	21	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	4	ドレスアップデーを考える(メイク・髪型)	22	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	5	表情&基本動作(立ち方、座り方)	23	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	6	基本動作(座り方、歩き方、お辞儀)	24	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	7	応用動作(指のさし方、物の受け渡し方、階段の折り方)	25	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	8	まとめ	26	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	9	まとめ	27	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	10	①挨拶・返事 +αの言葉を添える クッション言葉	28	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	11	②表情 笑顔の効果ブス	29	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	12	③態度感じの良い聴き方	30	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	13	④態度感じの良い話し方	31	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	14	⑤言葉使い 敬語	32	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	15	自己PR	33	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	16	長所・短所	34	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	17	志望動機	35	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	18	面接内容すべて	36	1年の振り返り	
成績割合	テスト	実技テスト50%	学習FB方法	授業ごとにフィードバック	
	学習態度・出席率	授業態度50%			
	レポート	なし	成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A80点-89点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロフィール	新卒で大手国内航空会社の客室乗務員として入社、国際線を中心に乗務。勤続25年。在職中に培った乗務経験・地上職経験を活かし、退職後は他専門学校エアライン科での講師経験やマナー講師経験あり。				

シラバス

科目名	国内地理～日本を彩発見～		担当者名	金田一 栄子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国内の観光資源について基本的な知識を学ぶとともに、歴史、文化、風土についても関心を広げていく。				
授業概要	座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。プランニングも行う				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業の概要と地図の使い方	19	京都・大坂・神戸	
	2	47都道府県と県庁所在地	20	三都プランニング	
	3	地元自慢	21	三都プランニング	
	4	北海道	22	近畿1(奈良・三重・和歌山)	
	5	東北地方6県	23	近畿2(兵庫・滋賀)	
	6	北海道・東北地方研究	24	中国1(広島・岡山)	
	7	北関東(茨城・栃木・群馬)	25	中国2(鳥取・島根・山口)	
	8	南関東(千葉・埼玉・神奈川)	26	四国地方 4県	
	9	東京	27	瀬戸内海の島々	
	10	伊豆・箱根	28	九州1(福岡・長崎・佐賀)	
	11	関東地方プランニング	29	九州2(宮崎・大分・熊本・鹿児島)	
	12	関東地方プランニング	30	沖縄	
	13	中部1(山梨・新潟・)	31	九州・沖縄プランニング	
	14	中部2(長野・岐阜)	32	テーマ別研究	
	15	中部3(福井・石川・富山)	33	テーマ別研究	
	16	中部4(愛知・静岡)	34	テーマ別研究	
	17	中部地方プランニング	35	プレゼンテーション	
	18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期末・後期末 成績表を配布	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

シラバス

科目名	ビジネススキル I		担当者名	若林 健太郎、大下 莉奈	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必修	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	常識的な知識やルールを身に付け、社会人として恥ずかしくない人材となる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてのビジネススキルと一般教養を身につける事を目標とする。				
授業概要	就職指導・グループワークを通して、実社会での常識・振る舞い・態度を体得する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究	19	テクノス祭準備/情報共有	
	2	就職活動の流れ確認/企業調査・業界研究	20	テクノス祭準備/情報共有	
	3	就職用提出書類について/企業調査・業界研究	21	テクノス祭準備/情報共有	
	4	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究	22	テクノス祭準備/情報共有	
	5	エントリーシートの書き方/企業調査・業界研究	23	グループワーク	
	6	自己PRシートの書き方/企業調査・業界研究	24	グループワーク	
	7	就職試験(面接)でのポイント・ルール①	25	社会人人心構え	
	8	就職試験(面接)でのポイント・ルール②	26	社会人人心構え	
	9	みどりの村準備(卒後ビジョン)	27	テクノス展準備/情報共有	
	10	みどりの村準備(卒後ビジョン)	28	テクノス展準備/情報共有	
	11	みどりの村準備(卒後ビジョン)	29	テクノス展準備/情報共有	
	12	みどりの村準備(卒後ビジョン)	30	テクノス展準備/情報共有	
	13	グループワーク	31	一年間の振り返り	
	14	グループワーク	32	社会人の心得振り返り	
	15	グループワーク	33	社会人の心得振り返り2	
	16	テクノス祭準備/情報共有	34	社会人の心得振り返り3	
	17	テクノス祭準備/情報共有	35	まとめ	
18	テクノス祭準備/情報共有	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	個人面談およびレポート返却によるFB	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	航空業界で客室乗務員の経験のある教員が担当				

シラバス

科目名	Power Speaking～英語で伝えよう自分の気持ち～ I		担当者名	飯野 知子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	朗読・スピーチ・プレゼンテーション等を行うことにより、人前で話す方法を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語でプレゼンテーションを行う能力と自信を養う。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の1限は、基本動作を習得し、応用する(通る声の出し方、発音、感情表現・イントネーション、スピード・リズム、アイコンタクト、ジェスチャー、ボディランゲージ等)一度紹介した基本動作を必要に応じて反復練習 ・絵本や詩並びに有名なスピーチの朗読・暗唱、紙芝居の作成、リサーチを伴うスピーチ・プレゼンテーション(パワーポイント付)等の実施 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	腹式呼吸および通る声の出し方の練習、母音の発音、リズム 自己紹介スピーチの内容確認	19	有名人のスピーチ(発表)	
	2	母音の発音、声で感情表現 自己紹介スピーチのコメント説明、絵本の原稿確認	20	ニュース番組、内容確認・確定、役割分担	
	3	自己紹介スピーチ発表 絵本朗読の役割分担、練習	21	ニュース番組、原稿ドラフトのコメント説明	
	4	母音(i/e)の発音、話す速さ・ポーズ(pause)の使い方 絵本の朗読(発表)	22	ニュース番組(発表)	
	5	母音(e/a)の発音 紙芝居の題材決定、内容確認	23	演劇(芝居の一部)、脚本の内容確認	
	6	母音(o)の発音、 紙芝居原稿のコメント説明	24	演劇(芝居の一部)発表	
	7	母音(a/i)の発音 紙芝居作成、練習	25	詩の内容確認	
	8	子音(b/v/d)の発音 紙芝居発表	26	詩の朗読	
	9	子音(s/sh)の発音、アイコンタクト 詩の作品紹介、内容確認	27	後期期末プレゼンテーションに向けて:プレゼン地域決定、内容確認、リサーチ方法、グーグル・マップの使い方等	
	10	子音(f/th/s)の発音、ボディランゲージ 詩の朗読	28	後期期末プレゼンテーションに向けて:リサーチ Q1 コメントの説明(個別指導)	
	11	子音(r/l)の発音、ジェスチャー スピーチ(My Home Town)内容確認、リサーチ	29	後期期末プレゼンテーションに向けて:リサーチ Q2 コメントの説明(個別指導)	
	12	子音(d/th)の発音 スピーチ発表	30	後期期末プレゼンテーションに向けて:リサーチ Q3 コメントの説明(個別指導)	
	13	子音(wh)の発音 前期期末プレゼンテーション(My Favorite Things)のトピック詳細確定、リサーチ 子音(ck/g)の発音	31	後期期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明(個別指導)	
	14	前期期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明(個別指導)	32	後期期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明2(個別指導)	
	15	子音(m/n)の発音 前期期末プレゼンテーション・スピーチ原稿ドラフトのコメント説明2(個別指導)	33	後期期末プレゼンテーション・パワーポイントのコメント(個別指導)	
	16	子音(t/d)の発音 前期期末プレゼンテーションの内容・デリバリー最終チェック(個別指導)	34	後期期末プレゼンテーション・パワーポイントの内容・デリバリー最終チェック(個別指導)	
	17	前期期末プレゼンテーション(質疑応答、フィードバック)	35	後期期末プレゼンテーション発表(質疑応答)	
	18	子音(n/ng/nk)の発音 有名人のスピーチ、内容確認(背景のリサーチを含む)	36	プレゼンテーションのフィードバック	
成績割合	テスト		学習FB方法	課題はTeams上でコメントし、更にコメントの内容を個別に説明 プレゼンテーション等実施直後にフィードバック	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	20%(課題)	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>80%				
講師プロフィール	海外生活16年。小学生の時にロンドンで、詩の暗唱を学ぶクラスに通う。中学、高校、大学で(英語)演劇部に所属。角川書店発売の「スノーピーのおもしろ英語ランド」カセットテープ全10巻で、ルーシー役およびナレーターとして出演。				

シラバス

科目名	英会話 I A		担当者名	G.McArdle、スラヤ タスノバ	
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分にあっているレベルで参加して、進むことができます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問	19	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	2	Present Tense 現在形を練習します。	20	Making small talk 雑談できるように学びます。	
	3	動詞'Be' Be' 動詞の使い方を学び。	21	What not to talk about いい話題と悪い話題を学びます。	
	4	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。	22	Directions 方向や目的地までの行き方を英語で伝えられるように学びます。	
	5	Describing People 人の様子を説明する練習をします。	23	Public Transportation 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	6	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。	24	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝えるように学びます。	
	7	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。	25	Travel manners and safety 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びます。	
	8	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。	26	Making requests お願いの仕方について学びます。	
	9	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・チェックインについて学びます。	27	Culture Shock 文化の違いやカルチャーショックを説明できるよう学びます。	
	10	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。	28	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びます。	
	11	Questions 現在形の質問をゲーム形式で学びます。	29	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	12	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション、スポーツなど自分が好きな事を話します。	30	Sharing my dream vacation 「なぜここを選んだ」という理由を説明する英語を学びます。	
	13	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。	31		
	14	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな食べ物、レストランでの注文の仕方を学びます。	32		
	15	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンドイッチの作り方を説明を練習します。	33		
	16	Planning a trip 海外旅行計画が作れるように学びます。	34		
	17	Airport English C・I・Qで使われる英語を学びます。	35		
	18	Staying at the hotel ホテルでの英語を学びます。	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>10% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>50% G<海外体感型学習>60%				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	500点突破！TOEIC対策		担当者名	鈴木とも子		
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間	
開講学年	1学年	必・選				
授業目的	TOEICの学習を通して、自然な英語に慣れ、英語の基礎力、理解力を高める事、また、TOEICのスキルを通して効率よく情報処理を行うコツを身につける事。実際のTOEICテストに最も近い、公式問題集のL&R7を前期に、L&R9を後期に使用、他のバージョンの公式問題集も取り入れ演習を多く行っていく。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEICスコア700点突破を目標に、学習法を身につける事で、更に自習でスコアを伸ばすことが出来る様になり英語でビジネスが出来る為の基礎力を養う事が出来る様になる事					
授業概要	ピッチ調整をした音声での、遅聴、速聴、シャドウイングを行う事で、脳の音声処理の機能を鍛えるトレーニングを行う。発音、リテンション(音声記憶保持)の改善から、英語の音声がかえ、理解出来る様に指導する。また、TOEICの語彙を確認しながら、沢山の問題に慣れる事で、英語の情報処理のスピードを高める様に指導を行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	19	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説		
	2	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	20	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。		
	3	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	21	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。		
	4	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	22	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。		
	5	Part2で出てくる質問のパターンに慣れる、語彙の学習とReading問題演習。	23	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。		
	6	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	24	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。		
	7	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	25	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。		
	8	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とpart6 Reading問題演習。	26	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。		
	9	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とpart6 Reading問題演習。	27	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。		
	10	Part3対話問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	28	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。		
	11	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	29	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。		
	12	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。語彙の学習とReading問題演習。	30	L&Rの復習 後期学期末テスト&カウンセリング		
	13	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。	31			
	14	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。	32			
	15	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。	33			
	16	前期期末試験&学習カウンセリング	34			
	17	Part4 アナウンスメント問題、概要を捉える練習、遅聴速聴音読練習。マルチプルバッセージ問題演習。	35			
	18	Part1で出てくる時制、人の行動、物の位置、配置の説明の仕方に慣れる。 1センテンスのリテンションを高める。Part5演習解説	36			
成績割合	テスト	40点前期期末テスト+後期期末テストのスコアを40点満点に換算します。	学習FB方法	期末テストの際、カウンセリング時間を一人ずつ設け、同時に待ち時間で感想と目標を書いて貰っている。		
	学習態度・出席率	30点出席、宿題等、参加しているかどうかを合計で判断。				
	レポート	30点これまでのTOEICのスコアの結果、受験回数、模擬テストで実力と努力を評価する。	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	(主な指導経験) TOEIC学習法セミナー、TOEICスコアアップセミナー、SWセミナー等の英語セミナーを、楽天、KDDI、NTT、東レ、日産、富士通、日立、電通、日本工営、みずほコーポレート銀行で、また、立教大学、法政大学、明治大学、武蔵野大学、立正大学、西武文理大学等の教育機関でも、TOEICスコアアップ指導を行って来ました。(主な取得資格) TOEIC990点、英検1級、					

シラバス

科目名	即戦力を目指す！PC入門		担当者名	千葉 輝子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識及びITリテラシーも身に付ける 				
授 業 計 画 表	授業内容		授業内容		
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画	
	2	科目ガイダンス 各自のPC環境整備	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	3	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	4	文字入力の基本	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	5	文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	6	文字入力の基本	24	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)	
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題1	
	10	ビジネスメールの書き方(ルールの説明) →レポート提出	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題2	
	11	ビジネスメール課題	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3	
	12	表作成の基本	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4	
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	日商PC検定文書作成検定 試験問題5	
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1	
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2	
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	後期復習問題	
	17	前期期末試験	35	期末試験	
	18	前期期末試験の解答解説	36	期末試験の解答解説及び後期振り返り	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	<p>商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。</p>				

シラバス

科目名	お客様の心をつなぐ架け橋となる手話4級		担当者名	小川 奈緒子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。				
授業概要	聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス・導入	19	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)	20	時制(1日・1週間の生活)	
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)	21	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)	22	都道府県名	
	5	手話の基本(数の表現・疑問詞の使い方)	23	聴覚障害と福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)	24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	7	自己紹介(人物・家族の表現)	25	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)	26	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	9	自己紹介(趣味の表現)	27	後期の復習/小テスト	
	10	自己紹介(職業などの表現)	28	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)	
	11	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)	29	時節の手話	
	12	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)	30	1年間の総復習	
	13	前期の復習	31	1年間の総復習	
	14	前期の復習	32	後期末試験(表出試験)	
	15	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	33	後期末試験(読み取り/筆記試験)	
	16	前期末試験(表出試験)	34	試験の返却/解説(後期の振り返り)	
	17	前期末試験(読み取り/筆記試験)	35		
	18	試験の返却/解説(前期の振り返り)	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会発行)	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。				

シラバス

科目名	アマデウスシステム検定		担当者名	毛利 奈緒	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS)」合格を目指す。				
授業概要	「アマデウス」トレーニングモードを使っての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識	19	サービスハブの活用法 ダイレクトアクセス アクセスレベル GGエントリー	
	2	各種コード検索① 世界地図	20	旅客氏名(小児・幼児) 入力・修正 SSRとは	
	3	各種コード検索② 主要航空会社	21	SSR 各種ミール HELPページ	
	4	日本地図 タイムテーブル コードシェア アライアンス	22	SSR 連絡先 CTCE CTCM	
	5	空席照会(オプション・ショートカット)	23	SSR フリーイベントフライヤープログラム	
	6	空席照会からの予約(ショートセル)	24	SSR シートリクエスト GGエントリー グラフィックよりサービスリクエストの見方	
	7	ロングセル ステータスコードとは フライトのキャンセル	25	REMARKS	
	8	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正	26	フライトインフォメーション(直行・経由便) MCT	
	9	連絡先 発券状況 送信元 完了 NHP	27	ヒストリー FXK	
	10	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し	28	基礎知識総復習	
	11	PNR作成練習	29	後期末試験	
	12	乗継便の予約・変更 マリードセグメント	30	検定対策① 試験返却 解説	
	13	ARNK オープンセグメント	31	検定対策②	
	14	エラーメッセージ キャンセル待ち ステータスコードの流れ	32	検定対策③	
	15	前期末試験対策	33	AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS 検定試験実施	
	16	前期末試験	34	総まとめ	
	17	試験返却 解説 総まとめ	35	総まとめ	
	18	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正	36	総まとめ	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師				

シラバス

科目名	ホスピタリティサービス		担当者名	相川 奏恵	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	感じの良いコミュニケーション力と人間力を身につける。ホスピタリティマインドを醸成し、質の高いサービスを提供できる知識とスキルを身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	■適切なコミュニケーション力と人間力を身につける ■ホスピタリティマインドやビジネスマナーを身につけ、就活力を形成する ■様々な業界のホスピタリティや顧客心理の研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す				
授業概要	ワークを通して自他の理解を深め、望ましい表現力と傾聴力を養い適切なコミュニケーション力を身につける。様々な業界のホスピタリティや顧客心理の研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す。				
授 業 計 画 表	授 業 内 容			授 業 内 容	
	1	オリエンテーション・マナーの基本	19	高齢社会・コロナ禍のホスピタリティ	
	2	人間力とマナー・メラビアンの法則	20	エンタメ産業のホスピタリティ	
	3	挨拶返事・身だしなみ・表情・態度・ことば遣い	21	中小企業のホスピタリティ	
	4	敬語①	22	宿泊産業のホスピタリティ	
	5	敬語②	23	交通産業のホスピタリティ	
	6	敬語③	24	医療現場のホスピタリティ	
	7	敬語テスト・解説	25	顧客心理①	
	8	思いやりのある言葉	26	顧客心理②	
	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)	27	顧客心理③	
	10	TDL①	28	顧客心理④	
	11	TDL②	29	顧客心理⑤	
	12	TDL③	30	顧客心理⑥	
	13	自己理解①	31	自己肯定感を高める	
	14	自己理解②	32	マナプロ検定対策①	
	15	他者理解①	33	マナプロ検定対策②	
	16	他者理解②	34	マナプロ検定対策③	
	17	自己表現	35	就活のマナー	
	18	相互理解	36	利休七則	
成 績 割 合	テスト	80%	学習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアドバイスを、定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育とマニュアル作成)を経て、現在は日本講師協会にて電話対応・課題解決・新入社員研修等を実施。実績は環境庁・東京都福祉保健局・八王子市役所・埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・SEGA・三菱ビルテクノサービス等				

シラバス

科目名	航空ゼミ(基礎B)		担当者名	
学科	エアラインサービス科		授業方法	ゼミ
認定単位	2単位	開講期		授業時間数
開講学年	1学年	必・選	必選	36時間
授業目的	移動目的で利用されることの多い空港の新たなサービスの価値を創造する。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界・観光業界の基礎知識を理解する。2.多面的かつ論理的に思考する。3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。			
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。			
授業計画表	授業内容			授業内容
	1	ゼミの趣旨について	19	
	2	チームビルディング	20	
	3	空港を利用するってどんな時??	21	
	4	その他の空港との違いは??	22	
	5	旅行における、空港の価値って??	23	
	6	外国の空港は??	24	
	7	特別な空港のSVCを調べよう	25	
	8	特別な空港のSVCを調べよう	26	
	9	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットニングなど)	27	
	10	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットニングなど)	28	
	11	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	29	
	12	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	30	
	13	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	31	
	14	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	32	
	15	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	33	
	16	ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える	34	
	17	発表に向けた練習、振り返り	35	
	18	発表に向けた練習、振り返り	36	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率	60%		
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%			
講師プロフィール	航空会社の予約、また客室乗務員の勤務経験のある二名の教員が主に担当			

シラバス

科目名	航空ゼミ(基礎A)		担当者名	大下 莉奈	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	ゼミ	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	移動目的で利用されることの多い空港の新たなサービスの価値を創造する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界・観光業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。				
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。				
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容
	1	ゼミの趣旨について		19	
	2	チームビルディング		20	
	3	空港を利用するってどんな時??		21	
	4	その他の空港との違いは??		22	
	5	旅行における、空港の価値って??		23	
	6	外国の空港は??		24	
	7	特別な空港のSVCを調べよう		25	
	8	特別な空港のSVCを調べよう		26	
	9	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットイングなど)		27	
	10	空港がどんな理由で使用されるか調べよう (目的・ターゲットイングなど)		28	
	11	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		29	
	12	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		30	
	13	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		31	
	14	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		32	
	15	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		33	
	16	ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える		34	
	17	発表に向けた練習、振り返り		35	
	18	発表に向けた練習、振り返り		36	
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率		60%		
	レポート		40%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89点 B:70~79点
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	航空会社の予約、また客室乗務員の勤務経験のある二名の教員が主に担当				

シラバス

科目名	身振り手振りで惹きつける表現力		担当者名	桜田 ゆみ	
学科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	シアターエドゥケーション(舞台表現学)、エンターテインメント作品の創作を通して、プレゼンテーションの強化を行う。プロジェクトを成功に導く力、協調性、話す力、伝える力の向上と、国際社会で活躍できる柔軟で魅力的な人材を育成する。これらのカリキュラムは企業の個人面接やグループ面接において、自己PRとスピーチの強化に繋がる。授業内では個々の魅力を最大限に発揮させ、自己肯定感を高めながら苦手を克服、得意分野を未知数に伸ばす。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	周囲を思いやる行動と、美しく朗らかな発想と発言を心がけ、自発的にオリジナル企画を創造し、チームで協力しながら取り組む実行力を強化する。プロジェクトの成功に大切な事柄を自ら探究し、指導力と責任感と和みの精神バランスを鍛える。描く夢と未来図、広い世界観、強い好奇心、自国と自分への誇りを持ち、世界中の人々と共に輝く魅力的な人物を目指す。				
授業概要	年2回のオリジナル舞台発表(またはオリジナルイベント制作)を行う。 日本と海外におけるエンターテインメントの制作現場と、成り立ち、脚本の構成、スタッフ、俳優(演者)の役割と技術を学び、自分たちの総合舞台芸術(演劇・ミュージカルなど)の企画と発表までの一連を実体験する。最終目標実現への道のり、アクシデントへの対応、備えとシミュレーション、自身とチーム、お客様(相手方)の喜びと感謝と発展に導く力を養う。授業では枠にとらわれず自由な発想を持って挑戦し、伝えたいこと、表現したいことに全力で取り組み、特技と個性を生かし役立てる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	4月:自己紹介、スピーチ、フリートーク 演技基礎①	19	10月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験) 舞台衣裳・道具の片付け、整理整頓	
	2	4月:自己紹介、スピーチ、フリートーク 演技基礎②	20	10月:前期舞台発表後のアンケートまとめ/後期舞台発表のミーティング(演目) 演技マスター①	
	3	5月:※補講または休講の予定	21	10月:後期舞台発表のミーティング(役職) 演技マスター②	
	4	5月:※オンラインリモート授業の予定 スピーチ、フリートーク/前期の舞台制作ミーティング(演目)/演技基礎③	22	11月:後期舞台発表のミーティング/台本制作開始(配役) 演技マスター③	
	5	5月:スピーチ、フリートーク/前期の舞台制作ミーティング(演目・役職) 演技基礎④	23	11月:演技マスター④ 舞台リハーサル	
	6	5月:スピーチ、フリートーク/舞台・台本制作(配役) 演技基礎⑤	24	11月:演技マスター⑤ 舞台リハーサル	
	7	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用①/舞台リハーサル	25	11月:演技マスター⑥ 舞台リハーサル	
	8	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用②/舞台リハーサル	26	11月:演技マスター⑦ 舞台リハーサル	
	9	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用③/舞台リハーサル	27	12月:ヘアメイク・衣裳・道具・照明・音響・映像・広報ミーティング 舞台リハーサル(通し)	
	10	6月:スピーチ、フリートーク 演技応用④/舞台リハーサル	28	12月:舞台リハーサル(通し) 年内のクラス内中間発表・候補日	
	11	7月:ヘアメイク、衣裳、道具、照明、音響、映像、広報 ミーティング 舞台リハーサル	29	12月:年内のクラス内中間発表・候補日 衣裳・道具類の整理整頓	
	12	7月:ヘアメイク、衣裳、道具、照明、音響、映像、広報 ミーティング 舞台リハーサル(通し)	30	1月:舞台総合リハーサル	
	13	7月:夏休み前のクラス内、中間発表 衣裳・道具類の片づけ、整理整頓	31	1月:舞台総合リハーサル	
	14	9月:舞台総合リハーサル①	32	1月:舞台総合リハーサル	
	15	9月:舞台総合リハーサル②	33	1月:舞台総合リハーサルG.P.	
	16	9月:舞台総合リハーサル③G.P.	34	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験)	
	17	9月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験)	35	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験)	
18	10月:前期舞台発表・本番の候補日(期末試験)	36	2月:後期舞台本番・候補日(期末試験) 振り返り・まとめ		
成績割合	テスト	45%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	45%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>100% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>100%				
講師プロフィール	舞台演出家、劇作家、脚本家、放送作家、ソプラノ歌手、国際文化外交アーティスト、スペイン演劇・スペイン音楽翻訳家。 武蔵野音楽大学声楽科卒業、スペイン国立マドリッド声楽高等音楽院修了。 モーツァルト作曲「魔笛」パミーナ役でオペラデビュー。オッペンバック作曲「天国と地獄」キュービット役、ミュージカル				

シラバス

科目名	接客実習～また会いたいと思わせる技術～		担当者名	大下 莉奈	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選	必選		
授業目的	客室乗務員・グランドスタッフとして即戦力となれるような人材を育成する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	客室乗務員・グランドスタッフに必要な知識・マインドを習得する				
授業概要	客室乗務員・グランドスタッフの役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	初回ガイダンス	19	フライトの流れ④	
	2	客室乗務員・グランドスタッフの心得・接客5原則	20	モックアップ実習①	
	3	JALフィロソフィについて・サービス哲学	21	モックアップ実習②	
	4	保安要員としての心得	22	モックアップ実習③	
	5	航空業界について	23	予備・調整日	
	6	AIRCRAFT	24	言葉がけ①	
	7	航空用語①	25	言葉がけ②・ワークシート	
	8	FIRSTAID	26	時差①	
	9	航空用語テスト①・復習	27	時差②	
	10	復習テスト②	28	時差③	
	11	フライトの流れ①	29	客室乗務員のサービスとは	
	12	フライトの流れ②	30	テスト前復習	
	13	夏休み課題「良いサービスとは」	31	学年末試験	
	14	スペシャルミール	32	試験返却・フィードバック	
	15	CAに必要なマインド	33	まとめ	
	16	前期復習クイズ	34	前期の振り返り	
	17	「良いサービス」1分間スピーチ・前期復習・クイズフィードバック	35	後期の振り返り	
18	フライトの流れ③	36	一年間の振り返り		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50 R≪実働実践型学習≫20 A≪主体的参加型学習≫20 G≪海外体感型学習≫20				
講師プロフィール					

シラバス

科目名	エアラインイングリッシュ		担当者名	白石 尚己	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必修	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	エアライン受験において要となってくる面接対策を1から指導していき、全講義の終了時には一人ひとりが様々な面接のスタイルに柔軟に対応していけるようなベースを作っていきます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	一人でも多くの受講者がエアライン面接において自信を持って臨んでいけるようになること。また、どのような面接のシチュエーションでも対応していける柔軟性を身につけること。				
授業概要	エアライン面接の対策を行う前に、まず自分自身を詳しく分析することが重要となってきます。それを踏まえて、この講義では「自己分析」に関する下準備に多くの時間を費やしていきます。今の自分の人格はどのように形成されているのか？どのような事や物に影響を受けているのか？また、今までの経験がどのように今後の人生で生きてくるのか？を詳しく追求していきます。自己分析が十分にできたところで自己PRを作成していき、複雑な問い掛けに対応していけるテクニックを指導していきます。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	一人ひとりに自己紹介をして頂き、今後の講義の評価や目標として流れを説明していきます。	19		
	2	自己分析をする時に必要な素材をピックアップして、紙に書いてもらう。例えば①テニス②語学③アルバイト	20		
	3	前回ピックアップした素材を深掘りしていく。例えば①テニスであれば、テニスを通じて何を学んだのか？今の自分にどう繋がっているのか？	21		
	4	過去の自分の経験で辛かったことや達成感を得られた経験をピックアップする。	22		
	5	前回ピックアップした経験を更に深掘りしていく。その経験が今の自分にどう繋がっているのかを再確認する。	23		
	6	どのように自己PRを作成するかを説明し、自身の自己PRの構成を考えてもらう。	24		
	7	自己PR(ロング)は400文字程度で構成される自己PRで、各自前回まで取り組んできた素材や深掘り経験をを用いて作成に取りかかる。	25		
	8	第7回の講義と同様に、自己PR(ロング)の作成を進める。	26		
	9	第8回の講義と同様に、自己PR(ロング)の作成を進める。	27		
	10	自己PR(ショート)は200文字～250文字で構成される自己PRで、自己PR(ロング)で作った文章をベースに作成していく。	28		
	11	第10回の講義と同様に、自己PR(ショート)の作成を進める。	29		
	12	自己PR(ショート)を完成させて、ランダムQ&Aのワークの説明をする。	30		
	13	ランダムQ&Aワークはランダムに質問を考えて、瞬時に回答していくアクティビティで、頭の回転を養っていく。	31		
	14	前回と同様にランダムQ&Aワークを行う。	32		
	15	この講義ではグループ面接について説明した後、実際にグループを作りロールプレイを行う。	33		
	16	実際にグループを作りロールプレイを行う。	34		
	17	実際にグループを作りロールプレイを行う。	35		
18	グループ面接ワークを行なったのちに、今学期の総括。	36			
成績割合	テスト		%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率		100%		
	レポート		0	成績評価	出席率80%以上 S 90点～100点 A 80点～89点 B 70点～79点 C 60点～69点 D 59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	外資系のホテルでコンシェルジュとして勤務した後に、外資系航空会社でキャビンアテンダントとして勤めておりました。生徒の皆さんに一つでも多く、この講義を受けて良かったと思って頂ける指導をしていきたいと考えております。				

シラバス

科目名	海外地理・歴史Ⅱ		担当者名	金田一 栄子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	主要な国、その国にある観光資源について基本的な知識を学ぶ。また、世界各地のホテルや空港についても広い視野で考えられるようになる。				
授業概要	座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。調べた成果は発表し、全体で共有していく。また、プランニングも行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の概要	19	ドイツ	
	2	世界の国々と首都	20	スペイン・ポルトガル ギリシャ	
	3	アメリカ	21	中欧諸国	
	4	ハワイ	22	北欧諸国・ロシア	
	5	カナダ・メキシコ	23	地域研究 ヨーロッパ2	
	6	地域研究 北アメリカ	24	地域研究 ヨーロッパ2	
	7	地域研究 ハワイ	25	アジア) 全体の地勢	
	8	オーストラリア・ニュージーランド	26	韓国	
	9	太平洋の島々	27	中国	
	10	地域研究 オセアニア	28	台湾・香港	
	11	地域研究 オセアニア	29	タイ・シンガポール	
	12	欧) 全体の地勢	30	マレーシア・フィリピン	
	13	英国	31	カンボジア・ベトナム	
	14	フランス・スイス	32	地域研究 東南アジア2	
	15	イタリア	33	地域研究 東南アジア2	
	16	地域研究 ヨーロッパ1	34	世界遺産(中南米)	
	17	地域研究 ヨーロッパ1	35	世界遺産(中近東・アフリカ)	
	18	確認テスト・まとめ1	36	確認テスト	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期成績表配布	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

シラバス

科目名	エアライン時事Ⅱ		担当者名	木花 章智	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	時事問題を深く読み解くための応用力を養います。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	時事問題を理解するための基礎的知識を獲得すると同時に、問題をさらに深く・複眼的・構造的に把握できるようになることを目指します。日々生起する諸問題は、観察する観点の違いによって、見え方や捉え方が異なることを理解し、それと同時に、問題を単独に生起したものとして見るのではなく、多くの場合、それらは深部において相互に関連しあう構造を有するものであることを見抜く力をも養っていきます。				
授業概要	本年度から、時事の授業も対面授業になります。授業では、テキストだけではなく、さまざまな映像資料などを用いて、政治や経済といった「とっつきにくい問題」も、できるだけ身近な問題として受け止められるように工夫していきます。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	地球環境問題①	
	2	日本の人口動態①	20	地球環境問題②	
	3	日本の人口動態②	21	日本のエネルギー政策①	
	4	日本の少子化対策①	22	日本のエネルギー政策②	
	5	日本の少子化対策②	23	男女格差問題①	
	6	日本の社会保障制度①	24	男女格差問題②	
	7	日本の社会保障制度②	25	選択的夫婦別姓問題	
	8	日本の財政状況①	26	LGBTQ	
	9	日本の財政状況②	27	外国人労働者問題①	
	10	物価上昇と賃金①	28	外国人労働者問題②	
	11	物価上昇と賃金②	29	臓器移植と脳死問題	
	12	2021年衆議院選挙と2022年参議院選挙	30	ゲノム編集	
	13	日本の安全保障政策①	31	人工知能(AI)①	
	14	日本の安全保障政策②	32	人工知能(AI)②	
	15	憲法改正問題①	33	メタバース	
	16	憲法改正問題②	34	アルテミス計画	
	17	日本の経済安全保障政策①	35	暗号資産(仮想通貨)	
18	日本の経済安全保障政策②	36	総復習		
成 績 割 合	テスト	40%	学習FB方法	成績評価 出席、定期試験、課題提出によって評価します。	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>70% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>70%				
講師プロフィール	専門は政治学です。特に近代西欧政治思想史を研究しています。現在の日本が抱える問題について、若いみなさんと大いに議論したいと思っております。よろしくお願ひします。				

シラバス

科目名	エアライン面接対策Ⅱ		担当者名	白石 尚己	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	エアライン受験において要となってくる面接対策を1から指導していき、全講義の終了時には一人ひとりが様々な面接のスタイルに柔軟に対応していけるようなベースを作っていきます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	一人でも多くの受講者がエアライン面接において自信を持って臨んでいけるようになること。また、どのような面接のシチュエーションでも対応していける柔軟性を身につけること。				
授業概要	エアライン面接の対策を行う前に、まず自分自身を詳しく分析することが重要となってきます。それを踏まえて、この講義では「自己分析」に関する下準備に多くの時間を費やしていきます。今の自分の人格はどのように形成されているのか？どのような事や物に影響を受けているのか？また、今までの経験がどのように今後の人生で生きてくるのか？を詳しく追求していきます。自己分析が十分にできたところで自己PRを作成していき、複雑な問い掛けに対応していけるテクニックを指導していきます。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	一人ひとりに自己紹介をして頂き、今後の講義の評価や目標そして流れを説明していきます。	19		
	2	自己分析をする時に必要な素材をピックアップして、紙に書いてもらう。例えば①テニス②語学③アルバイト	20		
	3	前回ピックアップした素材を深掘りしていく。例えば①テニスであれば、テニスを通じて何を学んだのか？今の自分にどう繋がっているのか？	21		
	4	過去の自分の経験で辛かったことや達成感を得られた経験をピックアップする。	22		
	5	前回ピックアップした経験を更に深掘りしていく。その経験が今の自分にどう繋がっているのかを再確認する。	23		
	6	どのように自己PRを作成するかを説明し、自身の自己PRの構成を考えてもらう。	24		
	7	自己PR(ロング)は400文字程度で構成される自己PRで、各自前回まで取り組んできた素材や深掘り経験をを用いて作成に取りかかる。	25		
	8	第7回の講義と同様に、自己PR(ロング)の作成を進める。	26		
	9	第8回の講義と同様に、自己PR(ロング)の作成を進める。	27		
	10	自己PR(ショート)は200文字～250文字で構成される自己PRで、自己PR(ロング)で作った文章をベースに作成していく。	28		
	11	第10回の講義と同様に、自己PR(ショート)の作成を進める。	29		
	12	自己PR(ショート)を完成させて、ランダムQ&Aのワークの説明をする。	30		
	13	ランダムQ&Aワークはランダムに質問を考えて、瞬時に回答していくアクティビティで、頭の回転を養っていく。	31		
	14	前回と同様にランダムQ&Aワークを行う。	32		
	15	この講義ではグループ面接について説明した後、実際にグループを作りロールプレイを行う。	33		
	16	実際にグループを作りロールプレイを行う。	34		
	17	実際にグループを作りロールプレイを行う。	35		
18	グループ面接ワークを行なったのちに、今学期の総括。	36			
成績割合	テスト	%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート	0	成績評価	出席率80%以上 S 90点～100点 A 80点～89点 B 70点～79点 C 60点～69点 D 59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	外資系のホテルでコンシェルジュとして勤務した後に、外資系航空会社でキャビンアテンダントとして勤めておりました。生徒の皆さんに一つでも多く、この講義を受けて良かったと思って頂ける指導をしていきたいと考えております。				

シラバス

科目名	ビジネスマナーⅡ		担当者名	相川 奏恵	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる 				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	就活・面接・企業研究シート	20	来客応対・名刺・紹介のマナー	
	3	自己分析・リフレーミング	21	バリアフリー①アシスト	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	バリアフリー②ハラスメント	
	5	敬語①	23	ビジネス文書①	
	6	敬語②	24	ビジネス文書②	
	7	敬語③	25	クレーム対応①	
	8	敬語テスト・解説	26	クレーム対応②	
	9	ソーシャルスキル①	27	顧客心理	
	10	ソーシャルスキル②	28	ストローク	
	11	文章上達①	29	知って得する社会のマナー	
	12	文章上達②	30	指示命令の受け方と報連相	
	13	創造力①	31	ビジネス文書①	
	14	創造力②	32	ビジネス文書②	
	15	創造力③	33	上手な仕事の進め方①	
	16	会社の使命・社員の役割	34	上手な仕事の進め方②	
	17	電話応対①	35	段取り力・8つの意識	
18	電話応対②	36	上手な指導の受け方・愛される社員になる		
成 績 割 合	テスト	80%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、各市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA他				

シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	和田 みさ	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	聴覚障がいについての理解を深める。 日常会話の基礎的な手話表現を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常会話の手話語彙を習得し、対人コミュニケーション力を高める 接遇手話の学習を通して、聴覚障がい者への対応技術を学ぶ。				
授業概要	聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。 日常会話や接遇手話の演習。 聴覚障がいの方を講師に招き手話での交流をはかる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	理論「聞こえない・聞こえにくい人とのコミュニケーション」	19	会話文WS「外国へ行こう」	
	2	ワークシート「障がい者の生活を考える」	20	会話表現演習「ツアーデスク」	
	3	反対語で学ぶ手話単語① [テキストP9-P12]	21	会話表現演習「ホテルフロント」	
	4	数字① [テキストP16-P18]	22	「盲ろう」について	
	5	都道府県・区市の手話表現 [テキストP19-P20、プリント]	23	会話表現演習「デパート」	
	6	手話スピーチ「私の家族」 [テキストP21-P23]	24	会話表現演習「デパート」②	
	7	数字② 助数詞 [テキストP24-P26]	25	ゲスト講師準備として、講師の手話動画の読み取り練習	
	8	手話スピーチ「わたしの一週間」	26	聞こえないゲスト講師と手話で会話・交流	
	9	疑問文の表現 [テキストP32]	27	時節の手話語彙	
	10	読み取りテスト [テキストP33]	28	会話表現演習「レストラン」	
	11	手話スピーチ「ツアープランニング」	29	接遇手話単語のおさらい	
	12	レポート課題「聴覚障がいの理解」	30	手話スピーチ「将来設計」	
	13	「交通機関」の手話表現	31	説明文の手話表現「道案内」	
	14	反対語で学ぶ手話単語② [テキストP38-P39]	32	「緊急事態」の手話	
	15	前期学習のお祝い プレテスト	33	手話のおさらい	
	16	筆記・読み取り試験	34	筆記・読み取り試験	
	17	実技試験	35	実技試験	
18	テスト返却と解説	36	テストの返却と解説		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	授業態度と学習意欲・習熟度で評価	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	手話通訳士として、講演会・会議・その他日常生活における手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。 聴覚障害のみならず、盲ろう者向け通訳・介助、視覚障害者のガイドヘルパーなど、多様な資格を有する。 聞こえない人と美術館をつなぐNPO活動のほか、フリーランスでミュージアム・コミュニケーターをライフワークとする。				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名	三浦 理恵	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	航空会社の「サービス」を多面的に捉え、一職種に囚われることなく、幅広い視野でエアライン業界を考察する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。				
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介 授業目的の共有	19	発表練習	
	2	世界的基準の格付け 「ワールド・エアライン・スター・レーティング」とは?	20	発表練習	
	3	世界的基準の格付け 「ワールド・エアライン・スター・レーティング」の評価項目 は?	21	発表練習	
	4	最高評価「5スター」を獲得しているエアラインのどこが優 れているの?	22	発表練習	
	5	最高評価「5スター」を獲得しているエアラインのどこが優 れているの?	23	発表練習	
	6	5スター航空会社における、日本と世界各社のサービスの 違いは?	24	発表練習	
	7	5スター航空会社における、日本と世界各社のサービスの 違いは?	25	発表練習	
	8	日本航空と全日本空輸での受賞歴の違いはどこから来 るのか?	26	発表練習	
	9	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	27	発表練習	
	10	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	28	発表練習	
	11	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	29	発表練習	
	12	世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	30	発表練習	
	13	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	31	発表練習	
	14	フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	32	発表練習	
	15	ギャップを埋め、今後も「5スター」を獲得できるSVCや戦 略を考える	33	発表練習	
	16	発表練習	34	発表練習	
	17	発表練習	35	1年のワークのまとめとしての最終発表	
18	発表練習	36	1年の振り返り(成果と課題の共有)		
成 績 割 合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロ フィール	新卒で国内航空会社の客室乗務員として入社。 国際線を中心に乗務、勤続25年。 在職中、乗務のみならず地上職(デスクワーク)も経験しマネージメントや育成スキル等幅広い知識を培った。 退職後は他専門学校エアライン科等で非常勤講師やマナー講師としての経験あり。				